

第3回碧南市文化財保護審議会 会議録

日時

令和7年3月14日（金）午前10時～正午

場所

碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 副会長 野村清尚、委員 曲田浩和、委員 岩田敏也、委員 伊藤利和、委員 石川博章、委員 北村恒
- (2) 欠席者 会長 浅井久夫
- (3) 事務局職員 文化財課長 杉浦宏真、文化財課長補佐 木村理恵子、文化財課文化財係長 豆田誠路、文化財課学芸員 築山拓磨、加藤有美

傍聴者 0人

議題

- 1 あいさつ
- 2 報告事項
 - (1) 令和6年度事業報告について（資料1）
 - (2) 令和7年度歴史系企画展の進捗状況について（資料2）
- 3 協議事項
 - (1) 令和7年度文化財展（案）について（資料3）
- 4 その他連絡事項

議事の要旨

- 1 あいさつ（野村副会長）
- 2 報告事項
 - (1) 令和6年度事業報告について（資料1）

事務局が会議資料に基づき、令和6年度の文化財課実施事業について報告した。報告内容について、審議会として了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】文化財展「碧南と鉄道」は盛りだくさんの展示だった。文化会館の隣の部屋（展示室2）は使用できなかったのか。

【事務局】文化財展の展示は、原則展示室1のみで考えている。展示室2は他の利用予約もあるため、部屋が空いているようであれば展示準備の様子もみて考えていきたい。

【A委員】美術館で開催できるのか。

【事務局】美術館の年間計画もあるため、スペースの予約都合もみて考える。

【B委員】過去に、美術館の多目的室Bで収藏品展を開催したことがあるが、収藏品展目当てで訪れる方が少なかった。文化会館は、イベント後に寄る方が多く、勤務地も近いので管理がしやすかった。

【C委員】展示物が多いなら、展示替えも検討してみてもは。
今回の展示は、電車の扉が手動だった等、実際に利用していた方の声も大事。今後は聞き取り調査も。

【事務局】利用者への聞き取り調査も重視し、今後の展示につなげていく。

【C委員】本堂や露出している指定文化財の盗難対策調査をした方がいいのでは

【事務局】出入りが激しいところを中心に状況調査をしていく。

【C委員】文化財防火デーの訓練では、「重要文化財」と書かれた箱を運び出している。実際に運ばなければいけないものを把握し、実際にやってみることが大事。

(2) 令和7年度歴史系企画展の進捗状況について（資料2）

事務局が会議資料に基づき、令和7年度歴史系企画展の進捗状況について報告した。報告内容について、審議会として了承された。

【C委員】安城の東端城は永井家だが紹介するのか。

【事務局】東端城は、12年前の「永井直勝展」で紹介した。

【A委員】永井に関しては、12年前に紹介している。今回は長田を目玉とし、長田家は文人・神職であったということを碧南の方に伝える。見どころを伝えるチラシ作りを。

【D委員】内容を訴えるチラシの工夫を。

3 協議事項

(1) 令和7年度文化財展（案）について（資料3）

事務局が会議資料に基づき、令和7年度文化財展（案）について説明した。審議の結果、委員の協議内容を踏まえ進めていくことで了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】①「加藤まさみ展」だけだと分からない。タイトルに時代性、地域性も。なぜ文化財展で紹介するのか関わりを。

【C委員】絵から読み取れる思い出があるため、面白いと思う。

【事務局】海水浴場など、当時のことを描いているため紹介したい。

【E委員】②「碧南高校展」で進めていくなら、藤井達吉も国民学校に関与しているため、藤井のことも紹介を。

【事務局】藤井の話も取り入れ、展示方法を模索していく。

【F委員】担当者は①か②どちらで進めていきたいのか。

【事務局】②の方向で進めていきたい。

4 その他連絡事項 なし